

事業報告書

「ぼくたちの地球を守ろう」

第13回小学生・中学生作文コンクール

第7回小学生・中学生ポスターコンクール

第10回アジアこども会議

2003年8月作成

NPO法人地球こどもクラブ

www.c-earth.org

2003年度運営事業
「ぼくたちの地球を守ろう」作文・ポスターコンクール
運営組織図

【主催】

NPO法人地球こどもクラブ

【後援】

外務省 文部科学省 環境省 東京都
NHK フジテレビ テレビ朝日 朝日学生新聞社

【協力】

全日本空輸(株)

《海外》中国： 北京市教育委員会 对外合作交流処
韓国： ソウル特別市教育庁／ソウル特別市東京事務所

【協賛】

東京電力(株) 三井物産(株) (株)日立製作所 東京ガス(株) (株)東芝 東北電力(株)
中部電力(株) 三菱重工業(株) 関西電力(株) 清水建設(株) 鹿島(株) トヨタ自動車(株)
日本原燃(株) 松下電器産業(株) 石油資源開発(株) (財)凸版印刷三幸会 (株)アルビオン
ユナイテッド・メディア(株) 北海道電力(株) 四国電力(株) (株)乃村工藝社
全日本空輸(株) (株)日報 アオイ産業(株) (株)井田企画 (株)朝日クリエイティブ

「ぼくたちの地球を守ろう」

第13回小学生・中学生作文コンクール 第7回小学生・中学生ポスターコンクール

<2003年度募集ポスター>

- ◆募集国： 3ヶ国
《日本・中国・韓国》
- ◆募集期間： 2003年1月～
2003年4月30日必着《海外》
5月31日消印有効《国内》
- ◆募集方法： 全国小・中学校の内1000校選定
全国市町村環境局・図書館の内400ヶ所選定
地方紙はじめ各マスコミ約100社に掲載依頼



◆作品応募状況：

国名	作文部門			ポスター部門			合計
	全体	小学生	中学生	全体	小学生	中学生	
日本	553	153	400	511	359	152	1,064
海外	145			191			336
中国	92			100			192
韓国	53			91			144
合計	698			702			1,400

- イベント名： 「ぼくたちの地球を守ろう」
第13回作文コンクール及び第7回ポスターコンクール授賞式
- 開催日時： 2003年8月5日(火) 午後13:30～15:00
- 会場： 如水会館(東京・千代田区)
- 主催： NPO法人地球子どもクラブ
- 後援： 外務省、文部科学省、環境省、東京都、NHK、フジテレビ、テレビ朝日、朝日学生新聞社
- 協力： 全日空
- 入賞者：

第13回作文コンクール	<u>合計11名</u>
国内受賞者	9名
海外受賞者	2名
第7回ポスターコンクール入賞者	<u>合計9名</u>
国内受賞者	7名
海外受賞者	2名

イベントの内容：授賞者への賞状及び記念メダル等の授与

賞及び受賞者数：	高円宮賞	作文	2名	ポスター	2名
	環境大臣賞	作文	2名	ポスター	2名
	優秀賞	作文	4名	ポスター	2名
	地球子どもクラブ賞	作文	1名	ポスター	2名
	審査委員長賞	作文	1名		
	特別賞	作文	1名	ポスター	1名
				(海外参加者2カ国)	
				<u>総合計</u>	<u>20名</u>

◆審査委員：	審査委員長	江森 陽弘 (ジャーナリスト・元朝日新聞編集委員)
	審査委員	長沢 光男 (環境ジャーナリスト・元朝日新聞編集委員)
		森 ミドリ (音楽家)
		アグネス・チャン (歌手)
		浅井 清恵 (中学校教諭)
		岡崎 友紀 (女優)
		内海 桂子 (漫才協団会長)
		東 てる美 (女優)
		浅野 能昭 (環境省環境教育推進室長)

作文・ポスターコンクール受賞者

■□■ 作文部門 ■□■

高円宮賞

小学生部門

おかべ のりかず 憲和 「地球にやさしい資源の活用」 東京都 千代田区立麴町小学校 6年

中学生部門

おおや 大矢 格 「環境問題と学校との間で悩むこと」 山口県 高水高等学校附属中学校 1年

環境大臣賞

小学生部門

おかべ たつみ 岡部 達美 「『タマちゃん』が教えてくれたこと」 東京都 千代田区立麴町小学校 4年

中学生部門

おおや とおる 大矢 透 「食から考えた環境」 山口県 高水高等学校附属中学校 3年

優秀賞

小学生部門

はっとり さとみ 服部 諭美 「ケチが地球を救う!？」 茨城県 つくば市立桜南小学校 6年

中学生部門

やなぎはら まみか 柳原 菜美佳 「大きな一言」 大阪府 大阪教育大学教育学部附属平野中学校 1年

中学生部門

おう じ 王 女尼 「浄化」 中国 北京第二中学校 1年

中学生部門

い・せうん イ・セウン 「美しい地球のために」 韓国 ヨンマ中学校 3年

地球こどもクラブ賞

中学生部門

のじま あゆ 野島 亜悠 「みんなで守ろう、水の惑星」 京都府 京都府綾部市立綾部中学校 2年

審査委員長賞

中学生部門

しまだ しゅういちろう 嶋田 修一郎 「一人一人の力から — 『富士山クリーン作戦』」
山梨県 駿河台西学園 駿台甲府中学校 2年

特別賞

中学生部門

かどや ちひろ 角谷 千飛路 「約束」 北海道 札幌市立八軒東中学校 1年

■□■ ポスター部門 ■□■

高円宮賞

小学生部門

クァク・スジン 「私達の誓い 地球の微笑み」 韓国 チョンニョン初等学校 6年

中学生部門

いぬずか ななみ 犬塚 菜々美 「あと1℃それが私にできること」 愛知県 安城市立安祥中学校 2年

環境大臣賞

小学生部門

はやし みゆ 林 実優 「車より足を使おう」 愛知県 安城北部小学校 4年

中学生部門

いとう よしゆき 伊藤 順之 「みんなの手で環境を守ろう」 埼玉県 羽生市立東中学校 2年

優秀賞

小学生部門

こんどう るね 近藤 路音 「美しい地球を守ろう」 石川県 私立北陸学院小学校 6年

中学生部門

はしもと たかこ 橋本 孝子 「私達の生きる道」 埼玉県 羽生市立東中学校 2年

地球こどもクラブ賞

小学生部門

ワンウェンタオ 王 文 「清い水の魚」 中国 北京市第二実験小学校 6年

中学生部門

とみかわ ひろみ 富川 裕美 「皆で守ってあげるから」 佐賀県 佐賀市立鍋島中学校 3年

特別賞

中学生部門

すずき こうたろう 鈴木 孝太郎 「森林は地球の宝」 静岡県 富士市立吉原東中学校 3年

授 賞 式



- 日 時 2003年8月5日(火) 13:30～15:00
- 会 場 如水会館(東京都・千代田区 松風の間)
- 主 催 NPO法人地球こどもクラブ
- 後 援 外務省、文部科学省、環境省、東京都、NHK
フジテレビ、テレビ朝日、朝日学生新聞社
- 協 力 全日空

プログラム

高円宮憲仁親王妃久子殿下ご入場
主催者代表挨拶<地球こどもクラブ会長 石井吉徳>
高円宮憲仁親王妃久子殿下お言葉
松本環境省総合環境政策局長ご挨拶
授 賞 式

高円宮賞	作文2名・ポスター2名	高円宮憲仁親王妃久子殿下より表彰
環境大臣賞	作文2名・ポスター2名	環境省松本局長より表彰
優秀賞	作文4名・ポスター2名	石井会長より表彰
地球こどもクラブ賞	作文1名・ポスター2名	〃
特別賞	作文1名・ポスター1名	〃
審査委員長賞	作文1名	江森審査委員長より表彰

高円宮憲仁親王妃久子殿下ご退席

アジアこども会議



- 日時 2003年8月5日(火) 15:15~17:15
- 会場 如水会館(東京・千代田区 富士の間)
- 会議参加者 コンクール受賞者
- イベントの内容
受賞者の子供たちが環境問題を考える会議を開催し、その成果を「こどもアジェンダ21宣言」としてまとめ、環境省大臣に提出する。
- 会議テーマ 『各国・各地域の環境破壊及び環境保護の違いについて』
- 司会進行 小林恵理氏

プログラム

高円宮妃殿下ご入場
主催者代表挨拶<地球こどもクラブ副会長 加納時男>
第10回アジアこども会議
こどもアジェンダ21宣言書とりまとめ・
環境省 環境教育推進室長へ提出
高円宮妃殿下ご退席

アジアこども会議内容

■ 会議テーマ「各国・各地域の環境破壊及び環境保護の違いについて」

コーディネーターとして各理事に国ごとに別れてもらい、中国に森ミドリ理事、韓国に東てる美理事、日本に岡崎友紀理事に付いてもらい入賞者の住んでいる地域で起こっている環境破壊そして、それに対して取り組んでいることを一人ずつ発表してもらいました。



山口県 大矢格

今ぼくの住んでいる地域では、海や川がゴミや食べかすなどで汚れて生き物が川に生息出来なくなっている。取り組みとしては、川に捨ててあるゴミなどを学校全体で拾いに行くという活動をしています。

京都府 野島亜悠

私は毎年、夏にはクーラーを使わずに過ごしています。扇風機と自然の風を利用して勉強などは涼しい時に済ませておきます。買い物に行く時は自分の買い物袋を持って行き、小学校では給食の食べ残しでたい肥を作り、そのたい肥で植物を育て、老人ホームにプレゼントをするなど、ボランティア活動をしています。

みんなが大きな事ではなく簡単な事から始めれば良いと思います。使わない電気をこまめに消したり、無駄な水を使わないなど、みんなが少しずつ意識をするだけで大きな変化が現れると思います。



静岡県 鈴木孝太郎

自分の出身が富士市なので、家のすぐ近くに富士山があり、富士山の麓の方では森林が伐採され、ゴルフ場が建設されており、心ない登山者によるゴミのポイ捨てが問題になっています。

自分出来る事は、地域の人達と協力してゴミ拾いなどの美化運動を行っています。



韓国 イ・セウン

韓国では、最近生ゴミを一般のごみと分けて出すようにしているのですが、生ゴミの水切りが不十分なためひどい臭いが出る悪臭の問題があります。

対策としては、生ゴミのゴミ箱に脱臭機能、乾燥機能、などを取り付けてなるべく人の通らない場所に置く事を考えています。

愛知 犬塚菜々美

川にゴミがたくさん落ちていたり、名古屋の方に行くと凄く空気が悪いく、私が住んでいるところより名古屋の町中はゴミがたくさん落ちています。

小学生の時にやっていたガールスカウトで川のゴミ拾いや学校で学区クリーン活動をやっていた。

東京都 岡部憲和

特に空気の汚染がひどく、地球温暖化などが問題です。中学校では身近な大気汚染・ゴミ問題として、たばこの煙とたばこの吸い殻のポイ捨てが問題であると考えています。東京都内の一部の区では、町中でたばこを吸ったら罰金という法律を作りました。地球温暖化を防ぐ方法として学校ではクーラーの温度を夏は1℃上げて冬は1℃下げるなど、パソコンの電源や使わない電化製品のプラグを抜くなどをしています。あと、酸性雨について調べて川が透きとおっていてキレイだと言う人がいたのだけれど、実際は酸性雨によって生き物やプランクトンが住めなくなっているの、生き物の居ないきれいな川になっている。見た目だけでは判断出来ないということがわかった。



韓国 クアク・スジン

私は自動車から出る排気ガスについて話したいと思います。少しでも遠かったり、車の方が楽だという理由だけで車を頻繁に利用する傾向があるので、それを解決するためには、公共の交通機関を使ったり、近い場所に行く時は歩きや自転車を利用する事が必要だと思います。公共の交通機関を利用すれば、交通渋滞を解消できますし自転車や歩くことによって、自動車の利用量を減らし排気ガスが減り、歩くことで健康のためにもなります。韓国ではナンバープレートの頭の数字別に車を運転できる日を決め、会社や官公庁、で取り組んでおり、民間でも実行している人達もいます。

中国 王文

私が住んでいる北京では砂漠化が深刻で、嵐が来ると黄砂で視界が悪くなってしまい、外に出ることが出来ません。

今は植林を行う事でだいぶ改善されています。みんなで植林運動に参加しています。



愛知県 林美優

私の地域では環境破壊の一番の原因は、自動車の排出ガスです。私が住んでいる安祥市では自動車がたくさん走っています。その為に車の交通量が多く排気ガスも凄いです。2年ぐらい前に市内を回るバスが出来て私の家の前にもバス停が出来ました。でも余り乗る人がいないため赤字です。自動車の排出ガスを減らすためには近くなら歩いたり、自転車を使ったり遠い場合は電車やバスを使う事が大切だと思います。



大阪府 柳原菜美佳

まずは、一人一人が環境に対して心がける事が大切だと思います。

今私が住んでいる地域では川の汚染や大気汚染が問題になっています。解決する方法として、今私が住んでいるところでは阪神ファンが飛び込めるように道頓堀をキレイにしています。

今回森ミドリ先生の方から入賞作品は普段地方が多く、東京にお住の方でしかも兄弟で入賞しており大変感動しているので岡部君の家はどんなご家庭かお父さんにお話を聞いてみたいとの意見があり発表してもらいました。

岡部父

私は障害者の方といろいろな事に取り組んでいる仕事をしているので、そのお話を致しますと、多摩川や荒川にゴミを見に行き、プラスチックや空き缶がどこから流れてくるのだろう？というゴミがたくさんあり、これを見てもらうと「これはおかしい」と言います。「何故おかしいのか？」と聞きますとこれは川にない物だと言います。今の人達は川にない物がある事を普通だと思っていることはおかしい。この異常な事を気づいてもらうには、実際に下水処理場や廃棄物処理場行って見てもらうことです。本日宮様がマイクロな行動は大事だとおっしゃっていましたが、マイクロが集まるとマクロになると言うことを日々の行動から思っております。われわれ民間から見ればマクロな企業がありますけれど、大企業の方でエリートの方を是非とも汚い現場、汚れた現場、表向きではない現場を見ていただいて、これは大企業の裏側でこういう現実があるのだと言うことを社員の方にしみじみと納得していただければ、必ずゴミは減る方向に動くと思います。皆さんそれぞれ頭の中で、自分たちが作った製品がゴミになったのだと目の当たりにすれば、愛社精神のある方であればこの現実について考えて下さるはずですが、自分の作った製品がゴミになることほどいやな物はないので、それを見せるような視察を国が音頭をとってぜひ行って欲しいと思っております。

森先生の方から次回のこども会議では、こども達だけでなく素晴らしい作品を書いた入賞者のお父さんお母さんも交えて会議を行いたいと理事の意見がありました。

こどもアジェンダ21 宣言まとめ&署名



アジア3ヶ国のこども達と森先生、岡崎先生、東先生が中心となり各テーブルをまわり、意見をとりまとめました。環境に取り組む行動を不便と感じるのではなく楽しみながら行い、地球を大切にす
る心や行動が青空や清い水として必ず自分たちに返ってくる。という意見を森先生がまとめ、こども
アジェンダ21宣言書として、スローガンを作りました。アジェンダ21の色紙には参加した全員の
署名が記され、代表して中学生作文部門で高円宮賞を受賞した大矢格さんにスローガンを書いてもら
い、今年の「こどもアジェンダ21宣言書」が完成いたしました。

こどもアジェンダ21 宣言書

不便を楽しんで小さなことから地球に恩返しをしていこう 地球を大切にすることは命を大切にすること

それは自分の幸せにつながる・・・空はもっと青く 水はもっと清く



各国の代表として、日本からは岡部憲和さん韓国、クアク・スジンさん中国ワン・ウェンタオさんが
浅野能昭環境省総合環境政策局 環境教育推進室長に手渡しました。

《浅野 能昭 環境省総合環境政策局 環境教育推進室長のお言葉》



みなさん大変素敵で貴重なこどもアジェンダ21宣言書をいただきまして、本当にありがとうございます。本当に大事なことが良くまとめられていると思います。鈴木環境大臣に必ずお渡しする事を約束したいと思います。また、大臣だけに見せるのは勿体ないので、皆さんが入賞された作文もコピーしまして環境省の全体の職員にも配りまして、みんなに読んでもらおうとおもいます。今の大人たちがこどもの時に環境が大事だということはあまり言われていなかったもので、十分な環境教育をうけておりません。そういうこともあってゴミを捨てたりしてしまいますけれど、これからは逆に大人を教えるって欲しいと思います。まさに今日集まって下さったみなさんは、環境のリーダーとなっただけのお子さんだと思っています。ですので、みなさんが21世紀を担うわけですから、環境のリーダーとして大人を教えて下さい。又皆さんのお友達にも環境の大事さを教えていただきたいと思っています。

懇 親 会



●日 時 2003年8月5日(火) 17:30~18:30

●会 場 如水会館(東京・千代田区)

プログラム

浅野環境教育推進室長、石井会長、他理事懇親会場へ
高円宮妃殿下 懇親会会場へご案内
挨拶 <井田専務理事>
乾 杯 <内海桂子理事>
ご 歓 談
高円宮賞作文朗読(小学生 岡部憲和/中学生 大矢格)
閉会の辞
高円宮妃殿下ご退席 控室へご案内
閉会・解散

授賞式他イベントご出席者

高円宮憲仁親王妃久子殿下（コンクール名誉総裁）

松本 省蔵 環境省総合環境政策局長

浅野 能昭 環境省総合環境政策局 環境教育推進室長

井上 直子 環境省総合環境政策局 環境教育推進室長補佐

石井 吉徳	地球子どもクラブ会長	東京大学名誉教授／富山国際大学教授
加納 時男	〃 副会長	参議院議員／元東京電力副社長
江口雄次郎	〃 〃	環境NGOアジア環境連帯代表
井田 敏夫	〃 専務理事	株式会社井田企画 社長
田中 豊蔵	〃 理事	元朝日新聞論説主幹
愛知 絢子	〃 〃	元衆議院議員愛知和男令夫人
江森 陽弘	〃 〃 審査委員長	元朝日新聞編集委員
長沢 光男	〃 〃 審査委員	環境ジャーナリスト
森 ミドリ	〃 〃 〃	音楽家
岡崎 友紀	〃 〃 〃	女優
浅野 能昭	〃 審査委員	環境省
東てる美	〃 理事	女優

（協賛企業）

松本 博充	日本原燃株式会社
日塔 憲夫	松下電器産業株式会社
岩淵 秀俊	ユナイテッド・メディア株式会社
岡部 修二	トヨタ自動車株式会社
山田 晃史	北海道電力株式会社
河村 博	株式会社日報

国内入賞者	15名	海外入賞者	4名
海外引率者	2名	通訳者	2名
入賞者家族	18名	マスコミ関係者	若干名

環境視察

- 日時 2003年8月4日(月)
- 見学場所 渋谷電力館
- 参加者 海外入賞者 4名 通訳者 2名
国内入賞者 15名 海外引率者 2名

宿泊する赤坂のホテルから海外・国内入賞者全員で地下鉄を乗り継ぎ渋谷電力館へ出発しました。
電力館ではサマーフェスティバルが開催しており、電気に関するクイズ大会やおもしろ不思議実験など様々なイベントが1階～7階まで各階ごとにあり、国内外の入賞者の子ども達は楽しく電気の仕組みや、電気の不思議などを学んでいました。

電力館で電気の仕組みの説明を聞く子ども達



電力館で集合写真

